

第3章

住民意向の把握

3-1 住民意識調査の結果

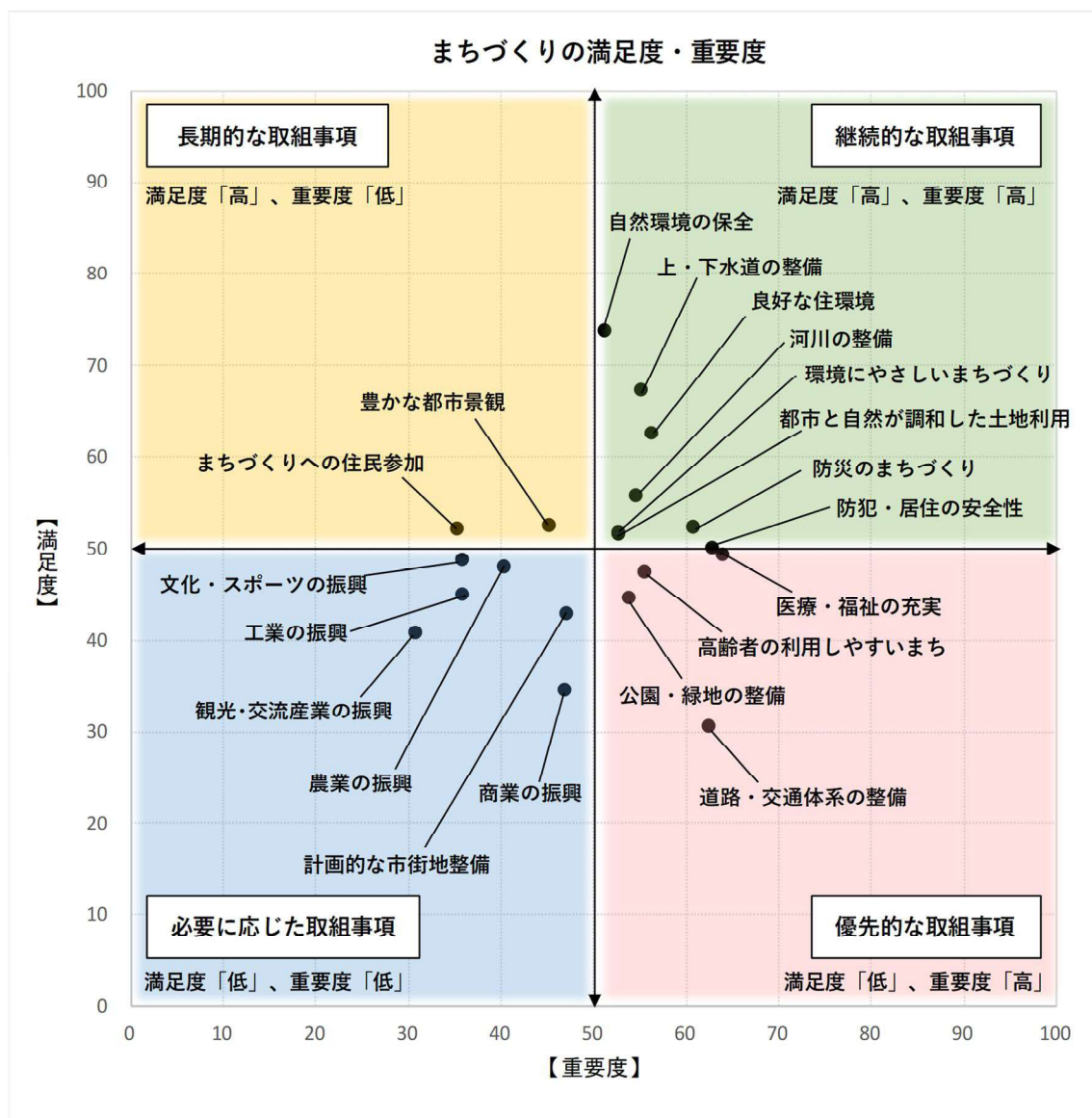
(2)調査結果(抜粋)

「住民意識調査」の結果は、次のとおりです。

◆『まちづくりに対する満足度・重要度について』

これまでのまちづくりに対する満足度と今後期待するもの（重要度）として、以下の事項があげられます。

- ◇ 『優先的な取組事項』：都市基盤や生活環境に対する取り組み
- ◇ 『継続的な取組事項』：自然環境や防災・防犯に対する取り組み
- ◇ 『必要に応じた取組事項』：産業振興に対する取り組み
- ◇ 『長期的な取組事項』：景観や協働に対する取り組み



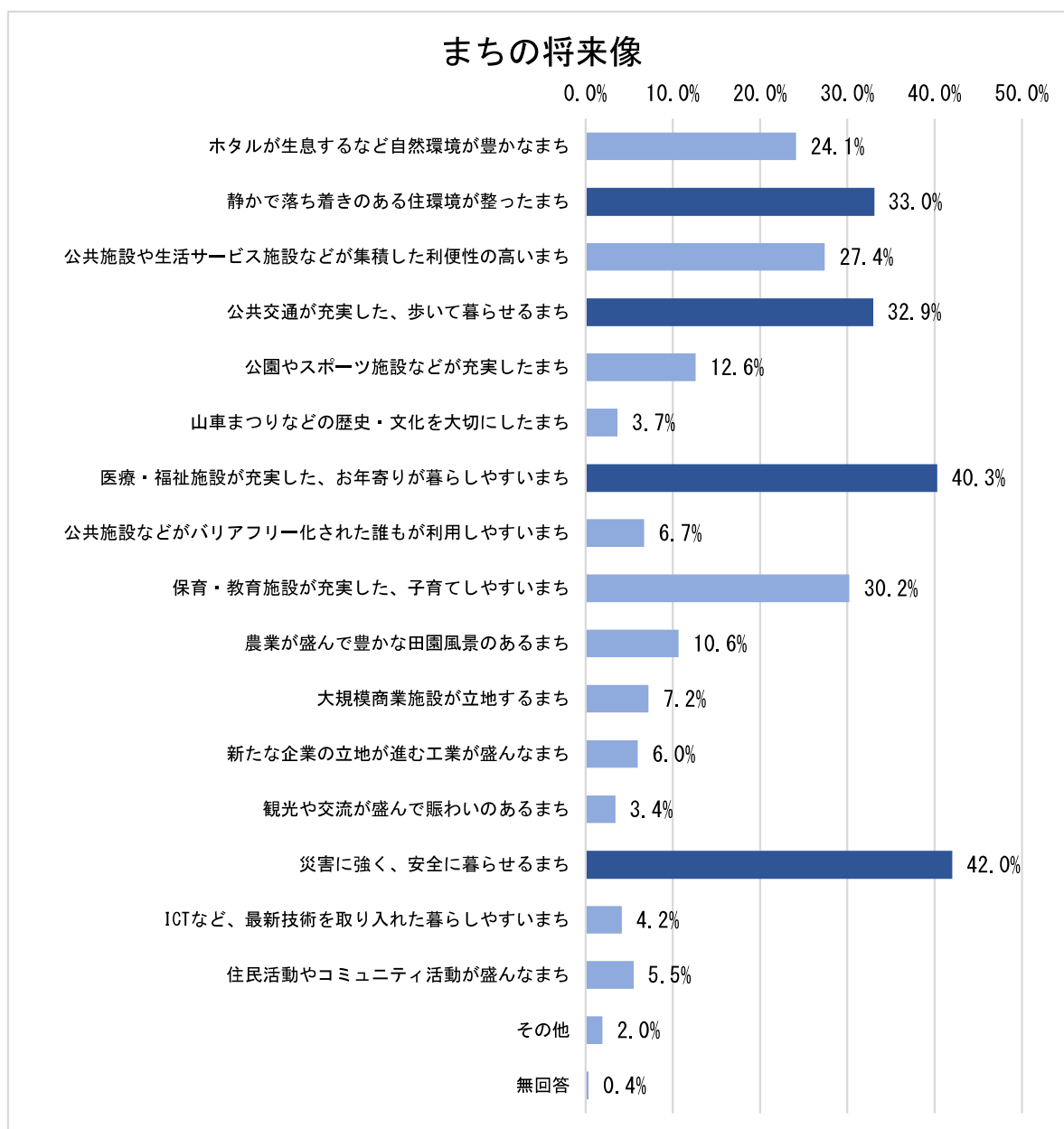
※「満足度」と「重要度」の回答を点数化し、平均得点を偏差値として示したもの。

「満足」5点、「どちらかといえば満足」4点、「どちらともいえない」3点、「どちらかといえば不満」2点、「不満」1点とし、その合計値を回答者数で除したものを平均点とする。

◆まちの将来像について

これからのまちの将来像として、以下の事項が求められています。

- ◇ 「災害に強く安全に暮らせるまち」
- ◇ 「医療・福祉施設が充実したお年寄りが暮らしやすいまち」
- ◇ 「静かで落ち着きのある住環境が整ったまち」
- ◇ 「公共交通が充実した、歩いて暮らせるまち」



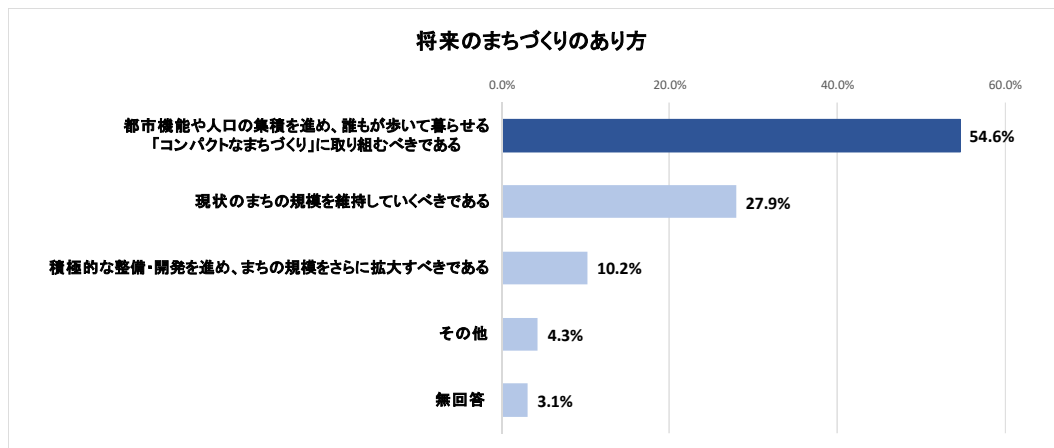
◆将来の土地利用・都市施設について

将来の土地利用・都市施設について、それぞれ以下の取り組みが求められています。

「住宅地」 における取組	【1位】既存住宅地の防災安全性向上（45.0%）
	【2位】既存住宅地の居住環境の維持・改善（40.1%）
	【3位】空家などの解消・有効利用の推進（31.7%）
「商業振興」 における取組	【1位】居住地周辺の身近な商業施設の充実（38.9%）
	【2位】車での利用に便利な幹線道路沿いの商業施設の充実（38.8%）
	【3位】名鉄河和線阿久比駅や阿久比町役場周辺の商業の活性化（38.6%）
「工業振興」 における取組	【1位】新たな工業用地の創出（49.1%）
	【2位】既存企業の育成・振興（31.0%）
	【3位】既存工業団地の操業環境の維持・保全（29.7%）
「農業振興」 における取組	【1位】担い手育成や民間参入による耕作放棄地の解消（41.2%）
	【2位】農産物のブランド化など農業活性化に向けた取り組みの推進（26.7%）
	【3位】食料生産や教育の場としての農地の維持・保全（24.5%）
「道路・交通」 における取組	【1位】安心して歩ける歩道の整備（53.1%）
	【2位】狭あい道路の拡幅など生活道路の整備・改善（38.8%）
	【3位】広域的な幹線道路の整備（21.4%）
「公園・緑地」 における取組	【1位】災害時の避難場所・活動拠点となる公園の整備（44.6%）
	【2位】子供が遊べる身近な公園の整備（41.7%）
	【3位】既存の公園・緑地の維持・管理（37.6%）
「河川・下水道」 における取組	【1位】災害に強い河川・水路の整備（45.4%）
	【2位】老朽化した下水道施設の計画的な改修（37.9%）
	【3位】自然豊かな水辺環境の保全（23.1%）
「景観」 における取組	【1位】阿久比川兩岸の優良な田園風景の保全（39.3%）
	【2位】良好な住宅地の景観の形成・向上（36.5%）
	【3位】名鉄河和線阿久比駅や阿久比町役場周辺の街並み・景観の形成（31.7%）
「防災対策」 における取組	【1位】災害時における一時避難場所や避難路の確保・整備（57.8%）
	【2位】道路や橋などの都市基盤施設の耐震化（35.0%）
	【3位】河川の氾濫・浸水対策（30.8%）

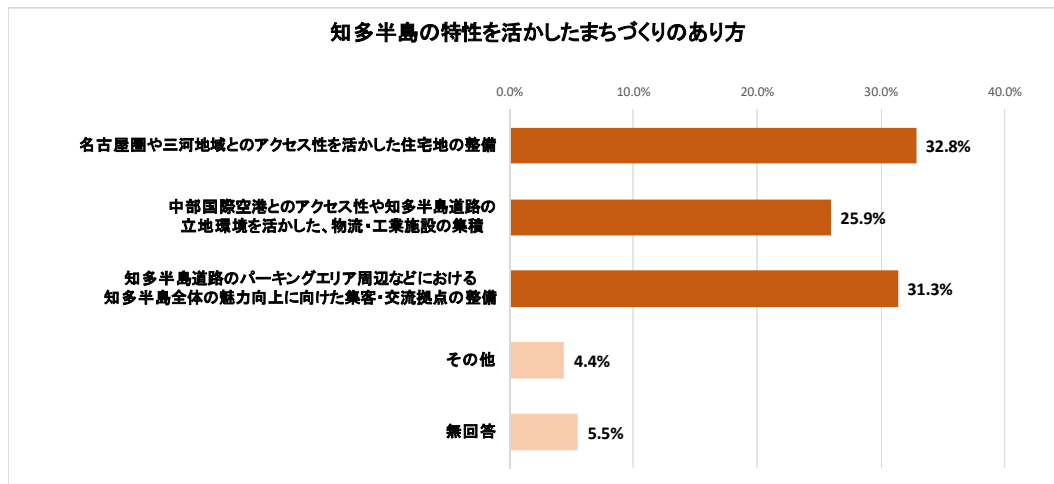
◆コンパクトなまちづくりについて

今後のまちづくりのあり方として、多くの住民が「コンパクトなまちづくり」を求めています。



◆町の立地特性を活かしたまちづくりについて

町の立地特性を活かしたまちづくりのあり方について、「住宅地の整備」、「集客・交流施設の整備」、「物流・工業施設の集積」それぞれ同程度の割合となっています。



◆住民のまちづくりへの参加について

以下の内容について、まちづくりへの参加意向が高くなっています。

- ◇ 自主防災や災害援助に関する活動
- ◇ まちづくりや地域活性化に関するイベント

